

沼津工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)	授業科目	How To Become a Global Engineer
科目基礎情報					
科目番号	2022-825		科目区分	専門 / 選択	
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 1	
開設学科	物質工学科		対象学年	5	
開設期	集中		週時間数		
教科書/教材	Printed materials will be provided if necessary.				
担当教員	未 定				
到達目標					
1. 豊かな国際感覚とコミュニケーション能力を養成する。 2. 世界を意識して生きる技術者としての思考と姿勢を育てる。国際的な受信・発信能力を養成する。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
評価項目1豊かな国際感覚とコミュニケーション能力	豊かな国際感覚とコミュニケーション能力がとてもよく身についている。		豊かな国際感覚とコミュニケーション能力が身についている。		豊かな国際感覚とコミュニケーション能力が身についていない。
評価項目2世界を意識して生きる技術者としての思考と姿勢	世界を意識して生きる技術者としての思考と姿勢がとてもよく身についている。		世界を意識して生きる技術者としての思考と姿勢が身についている。		世界を意識して生きる技術者としての思考と姿勢が身についていない。
評価項目3国際的な受信・発信能力	国際的な受信・発信能力がとてもよく身についている。		国際的な受信・発信能力が身についている。		国際的な受信・発信能力が身についていない。
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	日常的に地球規模で人と物と情報が移動し交り合って営まれる現代の産業活動の中では、世界を知り、国際感覚をもって物事を考え、判断できることは技術者にとって不可欠な能力となっている。そのために本授業では、世界を意識した思考と姿勢を育て、国際的な受信・発信能力を養成することを目標としている。				
授業の進め方・方法	授業の実施形態としては、英語を母国語とする外国人を講師とし、英語で授業を進行する。グループディスカッション・アクティビティを豊富に取り入れ、実践的能力を養う。また、夏季休業期間に開講し、5日間の集中授業で実施する。				
注意点	評価については、評価割合に従って行います。ただし、適宜再試や追加課題を課し、加点することがあります。				
授業の属性・履修上の区分					
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応	
☐ 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	Breaking The Ice What is a Global Engineer Communication With The World	積極的に英語でコミュニケーションがとれる。 自分の意見を英語で伝えることができる。	
		2週	Leadership - How to Start a Movement What does a GREAT leader actually do? Thinking Outside The Box	積極的に英語でコミュニケーションがとれる。 自分の意見を英語で伝えることができる。	
		3週	Using Your Strengths SWOT Analysis	積極的に英語でコミュニケーションがとれる。 自分の意見を英語で伝えることができる。	
		4週	The Story of My Life Connecting The Dots The 4P's of Marketing	積極的に英語でコミュニケーションがとれる。 自分の意見を英語で伝えることができる。	
		5週	Globalization and Society Japan's Place in the Global Market Ideation! Ideation In Action!	積極的に英語でコミュニケーションがとれる。 自分の意見を英語で伝えることができる。	
	2ndQ	6週			
		7週			
		8週			
		9週			
		10週			
		11週			
		12週			
		13週			
		14週			
		15週			
		16週			
後期	3rdQ	1週			
		2週			
		3週			
		4週			
		5週			
		6週			
		7週			

	4thQ	8週		
		9週		
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
----	----	------	-----------	-------	-----

評価割合

	Punctuality and active participation and eager involvement in group activities and discussions	Presentation to the class	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	50	50	0	0	0	0	100
基礎的能力	50	50	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0